

# II

[実践編] **新・社会人の基本行動**

## 新・社会人の 仕事と生活の基本

### 24の心がまえ

どのような心がまえで仕事や生活に取り組めばよいか——賢明なあなたは、その基本の考え方をもう十分に理解されていることでしょう。基本とは「何をいまさら……」というような、あたり前のことがらばかりのはずです。ですから、わかったつもりになっているのです。

では、新・社会人と社会人の行動はどこが違うのか。新・社会人は、社会人の行動について、知識としては知っていても、まだ実践の経験が足りないのです。社会で行動する、仕事をすすめていく、という場合には永い間に積み重ねられた、人々の知恵が結集されています。この知恵を身につけていくことこそ、新・社会人が第一にやらなければならない課題といえます。以下の24の課題で具体的に考えてみましょう。

# 1

## 仕事は真剣勝負の世界だ

### Let's Try ①

●仕事に対する考え方として、これからのビジネスパーソンにふさわしい考え方はどれですか？

- A. 会社は与えられた権限・責任において最大限の成果を生み出し、義務を果たし、それに見合った報酬を受け取る場である
- B. 会社は自分にしかできないことを仕事で実現する場である
- C. 会社はローテーションなどでいろいろな仕事をこなしながら、自己実現を図る場である
- D. 会社は優勝劣敗の法則で成り立つ経済社会の中に存在している。常に力のある者が勝つ世界だから、個々の仕事でも誰にも負けない実力を備えるべきである
- E. 会社はスペシャリストしか求めていないので自己の腕を磨くことに専念する

### 非情の世界で生き抜く実力をつける

社会人は学生と違い、お金を払って仕事を教えてもらうのではなく、仕事をすることで会社からお金を受け取ります。

市場原理  
経済社会

会社は**市場原理**の働く**経済社会**の中で常に競い合っています。そこは、負けるとたちまち退場を強いられる非情の世界です。ここで会社が生き抜くためには、社員一人ひとりが優秀な成績を収め、いかに会社に利益をもたらすかが重要なポイントになります。会社に利益をもたらすことができない人は、排除されても文句は言えないのです。

アウトプット  
社会人の義務

期待どおりに**アウトプット（結果）**を出すことが**社会人の義務**です。アウトプットが出せなければ一人前ということはできません。逆にアウトプットが出せるようになると、自然に**権利**はついてきます。「仕事もできないくせに、権利の主張だけは一人前」などと上司や先輩に言わせないことがあなたの使命です。いまは、真剣勝負の仕事の世界で生きることができるよう、実力をつけていくことを考えましょう。

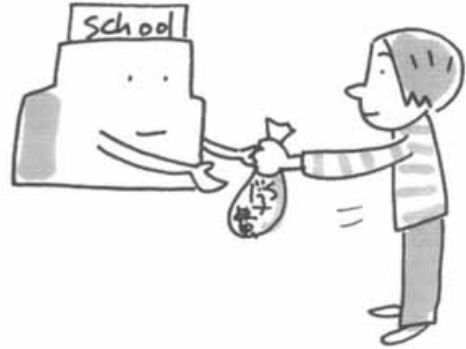
権利

## 学生と社会人はここが違う

社会人 働いて収入を得る



学生 学費・授業料を払う



社会人 好きな仕事だけではダメ  
好きな人とだけつきあえるわけではない



学生 勉強したい科目を選べる  
好きな(気の合う)友だちとだけつきあう



### 他にもまだある社会人（職場）と学生（学校）の違い

社会人		学生
仕事	目的	勉強
社則（守らないと周囲が迷惑し、非難をあげる）	規則	校則（守らないと自分が損をする）
上司・部下の上下関係 お客様との対外関係	人間関係	主に友人関係
拘束時間が長く、タイム・イズ・マネーが問われる	時間	時間割りがあるが比較的自由度は高い
敬語・接遇用語	言葉遣い	友だち言葉、学生言葉